

森のおくりもの10月



キバラヘリカメムシ（ヘリカメムシ科）



ある年代の方たちは記憶にあると思いますが、小学校の時の学習帳（ノート）の表紙と言え、世界各国の色鮮やかな昆虫写真が定番でした。ところが、2011年を最後に昆虫の表紙は姿を消してしまいます。その理由の一つとして、学校の先生方から「虫が苦手な子どもたちが嫌がっている」という声が目立ってきたからだそうです ※その他の理由もあります・・・

ですが、今年9月、その学習帳の50周年を記念して昆虫シリーズが期間限定で復活。「昆虫の魅力や生態を知ることによって自然環境に目を向けるきっかけになれば」というメーカーの思いからだそうです。観察の森で働いている私たちにとっては嬉しいニュースです。

今月の写真はキバラヘリカメムシ。なんともカラフルでカッコいいと思いませんか？ 巷には様々なデザインの製品があふれていますが、自然は何よりも優秀なデザイナーかもしれません。 【写真・文 近藤晋也】

※昆虫シリーズが無くなった経緯は、前述の理由に加え、2012年前後、世界各地に取材班が飛び回って写真を撮っていたものの、表紙になるような“いいモデル”の昆虫を撮影することができなかったというのも一因だそうです。

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『邂逅相遇（かいこうそうごう）』

今年は梅雨明けが遅れたこともあり夏の時期がずれたのか、例年より残暑が長引いたように感じました。それでも秋分を境に涼しくなったので、「暑さ寒さも彼岸まで」と昔の人はよく言ったものだと感心しました。

昨年見られたキノコを今年も見たいと思って探しましたが、昨年発見した同じ日と比べ20日以上経っても確認できませんでした。タイミングが悪くて見られなかったのだと諦めていましたが、ある日、ひょっこりと顔を出しているのをみつけ、とても嬉しく思いました。気象状況により自然の推移は影響を受けるので毎年同じにはなりません、こんなに違うことに驚きました。

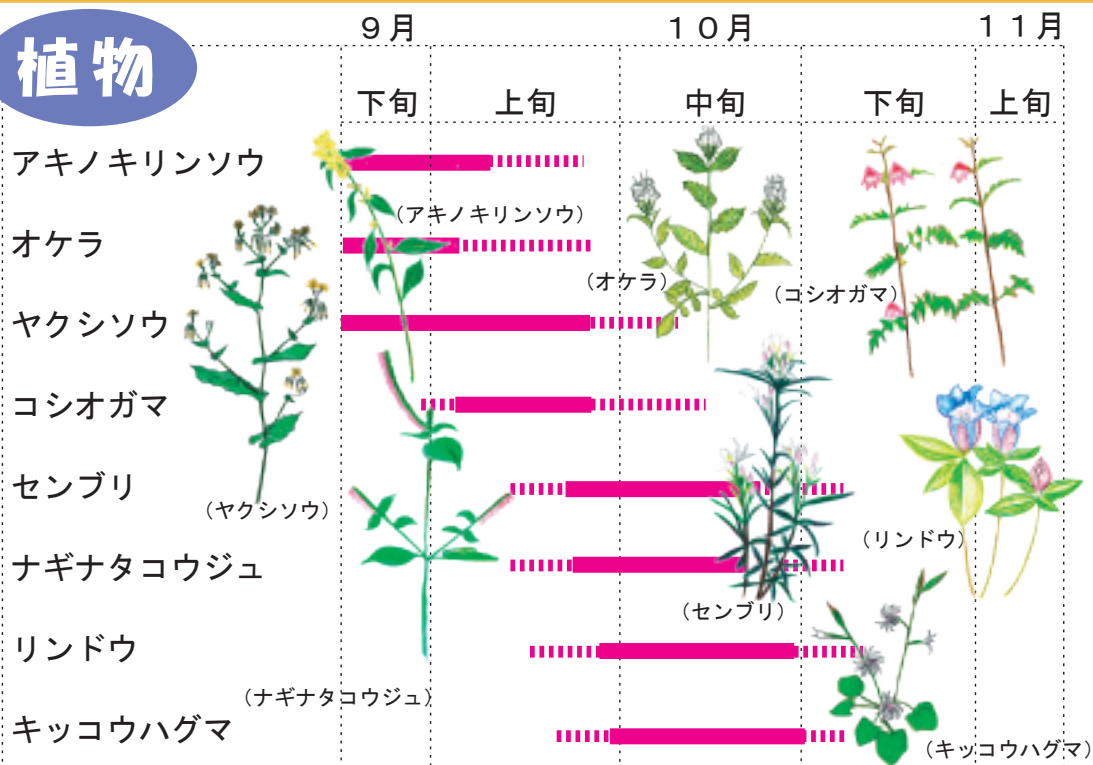
『邂逅相遇』という言葉がありました。「思いがけず偶然に出会うこと。運命的な巡り合わせ」という意味です。私が思う自然のおもしろさを一言で表すとまさに「邂逅相遇」です。何気なく向けた視線の先にたまたま映った光景や生きものの姿など、予期せぬ出会いがあるとワクワクします。その出会いの楽しみの醍醐味は人に教えられるよりも自分で発見することにあると思いました。

とてもいい言葉に出会えました。自ら気づき発見する自然の邂逅相遇のおもしろさを伝えていけるようになればと思います。【レンジャー：新田隆一】



10月の生物ごよみ

植物



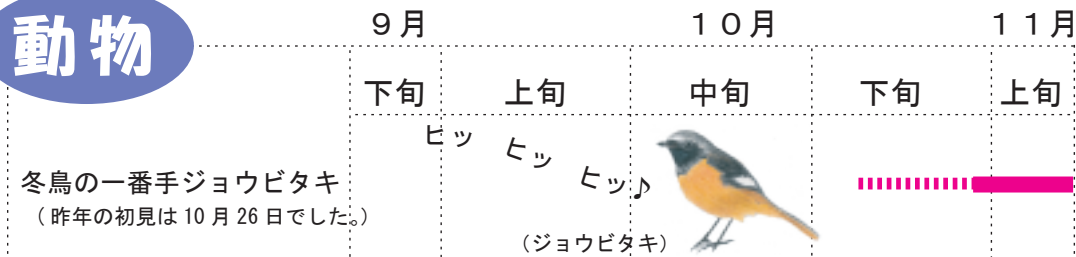
9月30日の午後、クワガタの森付近を歩いていると、アサギマダラがカシワバハグマの花を吸蜜していました。夏には蔵王などの高山でよく見られる蝶ですがこれから南下する途中なのでしょう。

アサギマダラは長距離を移動する蝶で海を渡って1000キロ以上の大移動する個体も珍しくありません。このアサギマダラはこの後どこに向かうのだろう。そんなことを考えるとロマンが広がります。



【カシワバハグマを吸蜜していたアサギマダラ】

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森の「おとしもの」



「鮮やかな赤」

ヤマツツジの丘を歩いていると鮮やかな赤い“おとしもの”があって、一瞬ドキッとしました（写真①）、カエントケという毒キノコに見えたからです（写真②）。

近づいてよく見ると、ツリバナの実でした（写真③）。それにしても目立つ赤です。実だけでなくその果皮も目の覚めるような深紅。遠くからでも目立つはず。さて、誰に見てほしいのでしょうか？

赤い色は小鳥たちへの“美味しいよ！私を食べて！！”のメッセージです。丸呑みされた実は鳥たちのおなかに入ったまま別の場所でフンと一緒に排出されます。鳥たちのおなかの中を通過することで発芽しやすくなった種は新天地で新たな人生をスタートします。

たいていの植物は自力で移動することができません。“より遠くへ、より様々な場所へ子供たちを運んでもらえますように…”もしかしたら、ツリバナの赤にはそんな思いが込められているのかもしれないね。

木の実が色づき始め、紅葉もこれから。太白山自然観察の森もいよいよ本格的な秋の訪れです。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①



写真② その名の通りまさしく火炎のようなキノコです。猛毒で触れただけでも皮膚に炎症を起こすので！！決して拾わないように注意しましょう。



写真③



右が5月29日の「吊り花」、左が9月3日撮影の実です。花から実に変化する様子も面白そう。

森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

キク科の花が目立つようになってきました。モミジハグマ属のオクモミジハグマ、コウヤボウキ属のオヤリハグマとカシワバハグマの花が咲きそろって来ました。同じキク科なので花の特徴は似ていますが、葉の形がそれぞれ違い、区別ができそうです、が、あれ、この葉に何でこの花が咲いているのだろう？ちょっと調べてみよう！（^^♪

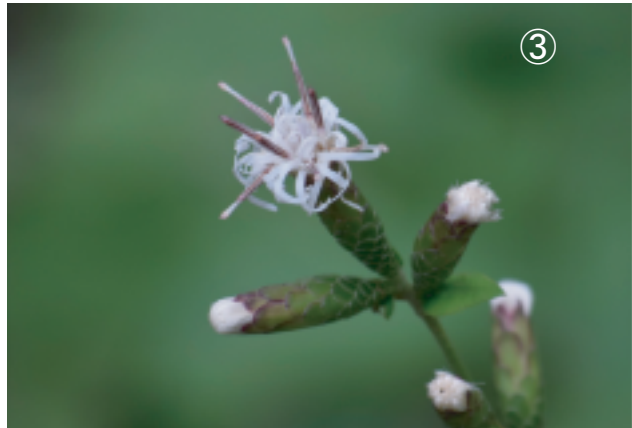


①

①はオクモミジハグマの花と②がその葉、③はカシワバハグマの花と④がその葉。⑤は、その葉が⑥なのでカシワバハグマだと・・・



②



③



④

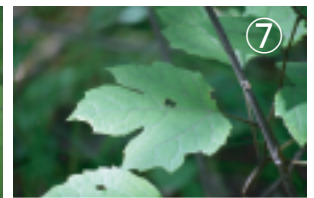
うーん⑤の花は③のカシワバハグマとちょっと違うな。花からつんと突き出ているのがめしべなので、・・・⑤はめしべが1つしかない！これはカシワバハグマではないかもしれない！！とすると、・・・



⑤



⑥



⑦

⑤と同じ花のハグマをさがしたら、その花の葉はほとんどが⑦の様に三つに裂けたオヤリハグマのものでした。オヤリハグマの花は、どの花も1つのつぼみに（頭花）に1つの花をつけており、1つの頭花に3つから5つほどの花をつけるオクモミジハグマやカシワバハグマとは違っていました。とすると⑤の花は、・・・（^^♪

どうも⑤の花はオヤリハグマのものようです。オヤリハグマの葉には変異が多く、葉が裂けないものも多いようです。 【レンジャー：菅原幸彦】

10月のイベント&お知らせ

◆イベント開始5分前までセンター前に集合してください。

◆「**太白山の秋をたずねて**」 10月17日(土)10:00～15:00

・秋の気配の始まった太白山を、講師の解説と共に登ります。

【定員】15名(小学生以上)

【持ち物】昼食、飲み物、帽子、雨具(カッパ)、歩きやすい服装と靴で

【申込み】往復はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤性別を記入の上10月10日(土)まで必着〔一枚で一家族3名迄応募可能、申込み多数の場合は抽選〕

◆「**森のアート観察会**」 11月7日(土)10:00～12:00

・芸術的な自然現象を観察したり自然の素材で芸術を表現したりして、秋の森を楽しみます。

【定員】10名(小学生以上)

【持ち物】飲み物、帽子、雨具、歩きやすい服装と靴で

【申込み】10月7日(水)午前9時より電話で受付〔先着順〕



◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮の場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

10月は4日、11日、18日、25日です。

開催時間:10:00～11:30
13:30～15:00



今月のガイドウォークのテーマは

『秋の森の楽しみ』

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

10月の休館日

5日(月)

12日(月)

19日(月)

26日(月)



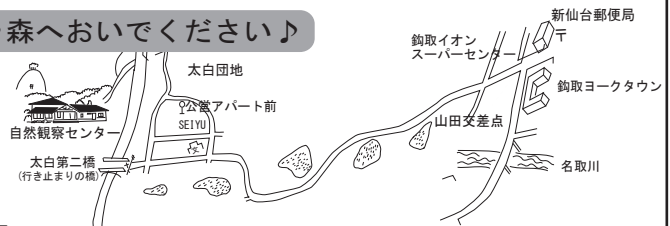
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白山地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白山地、山田自由ヶ丘經由山田南ニュータウン行」)
いずれも「公営アパート前」下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白山地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2020年10月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>